

## 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成22年10月分)について

(1) 問い合わせ件数

平成22年10月1日～平成22年10月29日

58件

(2) 内訳

① 食品安全委員会関係	12 件
委員会	1 件
広報・ホームページ・メールマガジン	9 件
リスクコミュニケーション	2 件
食品安全基本法	0 件
② 食品の安全性関係(注1)	5 件
評価全般	1 件
化学物質系	3 件
生物系	0 件
新食品	1 件
BSE	0 件
その他	0 件
③ 食品一般関係(注2)	39 件
化学物質系	13 件
生物系	2 件
新食品	7 件
プリオン	0 件
衛生関係	12 件
食品表示関係	5 件
その他	0 件
④ その他	2 件

注1) 食品の健康影響評価に関する事、ファクトシートの内容に関する事等、主として食品安全委員会の行う科学的評価に係る事項

注2) 食品一般に関する事項及び表示や衛生管理等、主としてリスク管理に係る事項

(3) 問い合わせの多い質問等

**Q** ベーキングパウダーなどの膨張剤にはアルミニウムが含まれているものがあるようですが、食品安全委員会において、アルミニウムについてこれまでに分かっていることを教えてください。

A :

食品安全委員会では、リスク管理機関から諮問を受けて行うリスク評価のほか、対象案件を自ら選定して行う評価（自ら評価）も行っています。アルミニウムについては、平成 22 年 3 月に自ら評価の対象案件として選定しており、リスク評価を行うために必要な情報の収集を行っているところです。

アルミニウムは、土壌、水及び空気中に存在し、包装材料などに幅広く使用されています。国内での規制としては、水道法に基づく水道水質基準として、アルミニウム及びその化合物の量を 0.2mg/l（アルミニウムとして）以下としているほか、食品添加物としても、硫酸アルミニウムアンモニウムなどについて食品衛生法に基づく規格基準が設定されています。

国際的には、平成 18 年に FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議（JECFA）第 67 回会合において、アルミニウムについて、従来より低い投与量でも繁殖や発達神経に関する健康影響がある可能性があるため、耐容週間摂取量（TWI）の暫定的な値を 7 mg/kg 体重/週から 1 mg/kg 体重/週に引き下げています。今後、各国が行っている追加試験のデータを基に、再度 JECFA において安全性評価が行われる予定です。

なお、TWI とは人が一生涯摂取し続けても健康への悪影響がないと推定される一週間あたりの摂取量のことであり、この値を超える物質を摂取しても直ちに健康への悪影響があるわけではありません。

また、アルミニウムがアルツハイマー病の原因ではないかという説もありましたが、現時点では、アルミニウムとアルツハイマー病の関連性についての明確な科学的な根拠はないとされています。

<参考>

- ・アルミニウムに関する情報（食品安全委員会）  
[http://www.fsc.go.jp/sonota/alumi/alumi\\_201010.pdf](http://www.fsc.go.jp/sonota/alumi/alumi_201010.pdf)
- ・第 3 2 回企画専門調査会 資料 4（食品安全委員会）  
<http://www.fsc.go.jp/fsciis/attachedFile/download?retrievalId=kai20091217ki1&fileId=007>
- ・第 324 回食品安全委員会 ※アルミニウムを自ら評価の対象案件として決定  
<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai324/index.html>
- ・アルミニウムとアルツハイマー病の関連情報（(独) 国立健康・栄養研究所）  
<http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail970.html>